



碧南ロータリークラブ週報

第3095回例会 令和6年6月12日(水)

- 会長 角谷 信二
- 幹事 杉浦 栄次
- 会場監督(SAA) 岡島 晋一

2023-2024 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 長田一希・牧野勝俊・杉浦秀延



世界に希望を生み出そう

●斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

三河ベイフットボールクラブ株式会社 執行役員 水木将人様

会 長 挨 拶

皆さん、こんにちは。本日も例会へのご出席ありがとうございます。

先週、本年度最後の理事会がございまして、スルッと終わりましたので一安心と思っておりますが、任期は今月いっぱいまでございますので、最後まで気を抜かないようにと思っております。

本来なら梅雨に入っておる訳でございますけれども、運が良いのか悪いのか、まだ入っておりません。また、夏日ということで、私は汗かきでございますので、かなり苦手なシーズンになってきたというのを痛感しております。暑くなるとどうしても冷たいものが欲しくなるということで、そうめんや冷やし中華が食べたくなる訳でございますけれども、私は1年中食べられる蕎麦が好きでして、蕎麦の話を少しさせていただきたいと思っております。

蕎麦は奈良時代の前からあったそうで、当時はお粥にして食しておったということで、大変な時の保存食とされていたそうでございます。他にどうやって食べておったかということ、粉にして蕎麦がきにするだとか、水で薄めて焼いて食べておったそうでございます。今のよな蕎麦になったのは江戸時代からでございます、当時はせいろに蕎麦粉を入れて蒸して、



角谷信二会長

味噌を水に溶いて絞ったつゆで食べておったということでございます。

蕎麦が流行りだしたのが18世紀のちょっと後ぐらいということでございますが、当時はうどんが主流で、出汁のきいた薄口の醤油でうどんを食べておるといのがほとんどだったのでございます。そこら辺から二八という蕎麦が出てきて、茹でて食べるようになりまして、関西に染まっちゃいかんということで、江戸の誰かが蕎麦を流行らせたというのが事実だそうでございます。

私は蕎麦が好きなので、ちょくちょく近所の蕎麦屋さんへお出掛けをする訳です。安城にある「石はら」というところでございますけれども、若い大将がやっております、なかなか美味しい蕎麦でございます。蕎麦好きな方は場所を紹介しますので、後でこっそり聞いていただければと思っております。

本日もよろしく申し上げます。

幹 事 報 告

幹事報告を申し上げます。

- ・ 第12回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。



杉浦栄次幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 62名 (内出席免除者 13名の内出席者 8名) 出席者 49名	
出席対象者 49/57名	出 席 率 85.96%
欠席者 13名 (病欠者 0名)	

<ニコボックス>

角谷 信二君 先週、本年度最後の理事会が無事終わりました。役員・理事の皆さん1年間ありがとうございました。

鈴木 泰博君 お誕生日のお祝いありがとうございました。昨日で66歳になりました。

植松 敏樹君 皆様の浄財で成り立っております日本赤十字社の愛知県支部、病院の監査がすべて終わりました。ありがとうございました。

長田 豊治君 昨日の碧南高浜防犯協会連合会の総会には角谷会長にご臨席頂き有難うございました。新美宗和会長は顧問に、副会長の杉浦秀延さんは新会長に、新たな副会長には伊藤正幸さんが、貝田隆彦さんは会計で新年度が始まりました。私、長田豊治は顧問から無印となり、感謝状を頂きました。今後も防犯協会へのご協力を皆様をお願いいたします。

清澤 聡之君 先日、6月6日、浜風臘扇忌法要が無事つとまりました。長田和徳さん、サ

ンアドバンス様のみな様に大変お世話になりました。

岡本 明弘君

次男の自宅が完成しました。石橋さんにお世話になりました。

新美 雅浩君

先週の碧南高浜安全運転管理協議会の総会で、6期目の会長を拝命しました。会員事業所の皆様には色々と活動にご協力下さり、誠にありがとうございます。又、おまけで愛知県安全運転管理協議会の副会長も拝命しました。こっちは荷が重いです。役立たずですが、頑張ります！

粟津 康之君

このたび、6月30日をもって退会させていただきます。欠けがいのない思い出をつくっていただき、また、大変お世話になりました心より感謝申し上げます。おそれ多くも偉大な先輩方々にもお引きとめ賜りましたが、職業倫理を前提としたロータリークラブに、今の私がとどまる理由がないと結論を持ちました。勝手申し上げご迷惑をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。碧南ロータリークラブメンバーの皆様の今後ますますのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

石川 鋼勇君

本日の卓話講師 三河ベイフットボールクラブ株式会社 執行役員 水木将人様を紹介させていただきます。

卓 話

「FC刈谷（サッカークラブ）が新しい地域の価値となるために」

三河ベイフットボールクラブ株式会社 執行役員 水木将人様



水木将人様

先程ご紹介いただきました三河ベイフットボールクラブ株式会社の執行役員をしております水木将人と申します。本日は貴重な機会をいただきありがとうございます。本日は「FC刈谷（サッカークラブ）が新しい地域の価値となるために」というテーマでお話しさせていただきます。よろしくお祈りいたします。

先程ご紹介いただきましたが、自己紹介をさせていただきます。名前は水木将人と申します。32歳です。出身は神奈川県相模原市（東京都多摩市生まれ）です。東京生まれ神奈川県育ちというシティボーイ感があるんですが、東京都の多摩市というところは平成狸合戦ぽんぽこの舞台となっております。小学校の時に神奈川県相模原市に引っ越しして、今は政令指定都市になっているんですが、私が引っ越しした当時は10分行けば相模川があり、30分行けば高尾山がありという川と山が近くにある中で育ちましたので純粋です。

私の略歴としては、ほぼ社会人としての経歴がございません。なので、選手の経歴として書かせていただきました。2014年に藤枝MYFC、2015-2016年にアスルクラロ沼津、2017年にラインメール青森、2018-2020年にFC刈谷（2020シーズン引退）、2021年に三河ベイフットボールクラブ株式会社へ入社、2023年に執行役員に就任という経歴でございます。

はじめにFC刈谷がどんなチームなのかをご説明させていただきます。2006年にデンソーサッカー部の後を引き継ぎ、FC刈谷（NPO法人かえるスポーツクラブ）が誕生しました。

その後、2021年3月のJFLの昇格と共に三河ベイフットボールクラブ株式会社が発足し、昨年のホームゲーム開幕戦では1,607人にご来場いただき、年間を通して平均1,000人を超えるお客様にご来場いただきました。また、昨年は150社を超えるスポンサー様からのご支援をいただき、行政連携でのパートナーシップは刈谷市、東浦町、大府市、高浜市、碧南市、阿久比町とホームタウン契約を締結させていただきました。今年の3月には西尾市も新たにホームタウンに加わっていただき、FC刈谷のホームタウン人口は55万人を超えるまでとなりました。多くの地域とその皆様に多大なるご支援をいただき、三河知多地域からJリーグ昇格を目指して現在も戦っております。

クラブビジョンとしましては、地域と共に

- 『感動・夢・誇り』を創ります
- サッカーを通して健やかで明るい『人・まちづくり』を創ります
- サッカーの楽しさを提供します
- スポーツを通じた青少年の育成・健康増進・健康寿命延伸に寄与します
- 皆が集い交流できる場を創造します

ということで、地域の皆様と共に歩み、三河知多地域初となるJリーグクラブを目指しております。

Jリーグ昇格のためということで、現在、FC刈谷は東海社会人リーグ（地域リーグ）に所属しております。J1から数えると5部相当のリーグで戦っております。J3昇格条件は9つあるんですが、主にリーグ戦におけるホームゲームの平均来場者数が1試合2,000人、年間の入場料収入が1,000万円を超えなければ結果を残しても上がれないということになっております。ですので、私たちはホームタウンエリアを広げて、FC刈谷というチームを知っていただき、まずは認知してもらうためにこういう機会をいただいた次第でございます。

今シーズンは茂庭照幸が監督です。サッカーをご存知の方は名前を聞いたことがあるんじゃないかと思うんですが、J1で300試合出場している選手で、ドイツワールドカップの時に日本代表で出場した選手です。

私たちはFC刈谷アカデミーとして小学校・中学校のチームも運営しております。未来のJリーガーを育成しております。現在の愛知県のサッカー界の課題は、高校年代になると優秀な選手が県外に出て行ってしまうことです。ですので、私たちがいち早くJリーグに昇格し、その課題を解決する場を提供したいと考えております。

私たちはホームタウンパートナー以外にも、スポーツ振興の取り組みを通じて、相互の資源や機能等の活用を図りながら連携協力することによって、地域社会の活性化及び社会貢献に寄与することを目的として、愛知教育大学、日本福祉大学と連携協定を結ばせていただいております。

昨年はJFLに昇格はできなかつたんですけども、10月に行われた全国社会人サッカー選手権大会、約3,700チームある社会人サッカーチームの中で日本一になり、クラブとして初の全国タイトルを獲得させていただきました。日程を見ていただいたら驚くかと思うんですが、5日で5試合、10月なのでまだちょっと暑い中でPK戦もあったんですけど優勝できたことは非常に誇り高いことです。

私たちの目指すブランディングは、クラブが地域の顔となり、地域の名前を全国に広めることです。地域産業や観光、ビジネス、子供たちの夢を乗せて、サッカーの船で世界に飛び立つことを目指しております。地域の特色をクラブに反映させ、クラブが大きくなることで地域にも変化をもたらします。

私たちのこれからとしては、JFL 昇格、愛知県三河地域から J リーグクラブの創設を目指し、幼児からアカデミーの世代までの選手の育成、スポーツを通じたまちづくり、集客能力のあるスポーツ施設の整備など、サッカーだけではなくて社会貢献活動も実施しております。昨年は年間 132 回の社会貢献活動を実施し、地域交流をさせていただきました。ホームゲームの際には地域の方々が家族連れで 1 日中楽しめるようなイベントを組んで活動しております。

スポーツはやるだけではなくて、見るだけでも健康になるというデータが出ております。応援しているチームの勝利を見ることは 90 分間早足で歩くのと同程度の身体的負荷が掛かり、勝利を見届けた場合は 24 時間にわたり高揚感が続くと言われております。

私たちは地域に新しい価値を生み出し、スポーツを通じて地域の健康と幸福を促進することを目指しております。今後も皆様のご支援を賜りながら、地域の皆様に愛されるクラブを目指して活動していきます。

本日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。

次回例会案内

令和 6 年 6 月 26 日（水）は定款第 7 条第 1 節（d）による休会
令和 6 年 7 月 3 日（水）クラブフォーラム「役員挨拶」